

◆東北インフラDX人材育成センターを見学！ [R5.10.2]

『東北インフラDX人材育成センターを訪問し、3次元CADの作成体験やバックホウ・除雪グレーダのシミュレート体験を行いました。』

- 2次元の図面・写真から3次元図面の作成やMR※の体験をしました。
- 【写真①・②】
- 東北技術事務所職員に説明を受けながらバックホウと除雪グレーダの操作体験をしました。
【写真③・④】

◎東北技術事務所

東北技術事務所は東北地方における急峻な地形・積雪寒冷地など厳しい自然条件にある道路構造物や河川構造物の維持管理・保全について、技術的な支援を行っています。

※MRとは

MRは、Mixed Realityの略で「複合現実」と呼ばれています。

ヘッドマウントディスプレイ等の機器により、図面データを映し出すことで、現実に実寸サイズのデータを投影することができます。

【写真②】



【写真①】
3次元CAD
の作成体験



【写真②】
MR体験



【写真③】 バックホウのシミュレート



【写真④】 除雪グレーダのシミュレート

◆見学した若手職員の声



【写真⑤】

3D-CADを使用することで、視覚的にわかりやすく伝えやすい！
今後の業務で活用できればメリットは大きいと思った！

建機シミュレータにより、事前に基本操作、作業装置の動きを学ぶことができ、経験の浅いオペレータの現場操作の可能に繋がると理解できた。

～ひとこと～

MR等の最新技術を活用することにより、経験、専門知識がない人でも容易に把握することができるようになると理解した。今後は最新技術を活用して一般の方等に説明していきたいと思った。